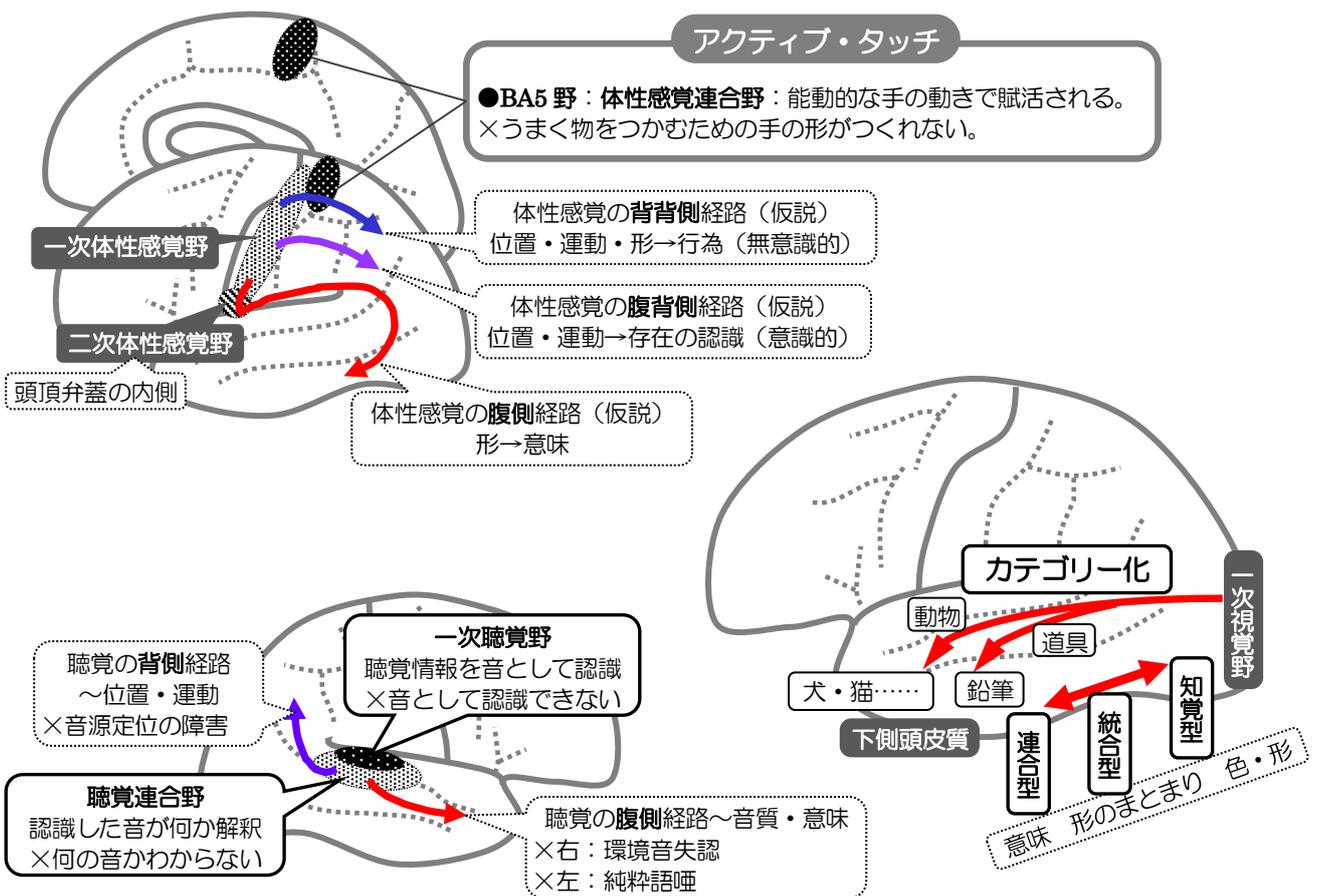
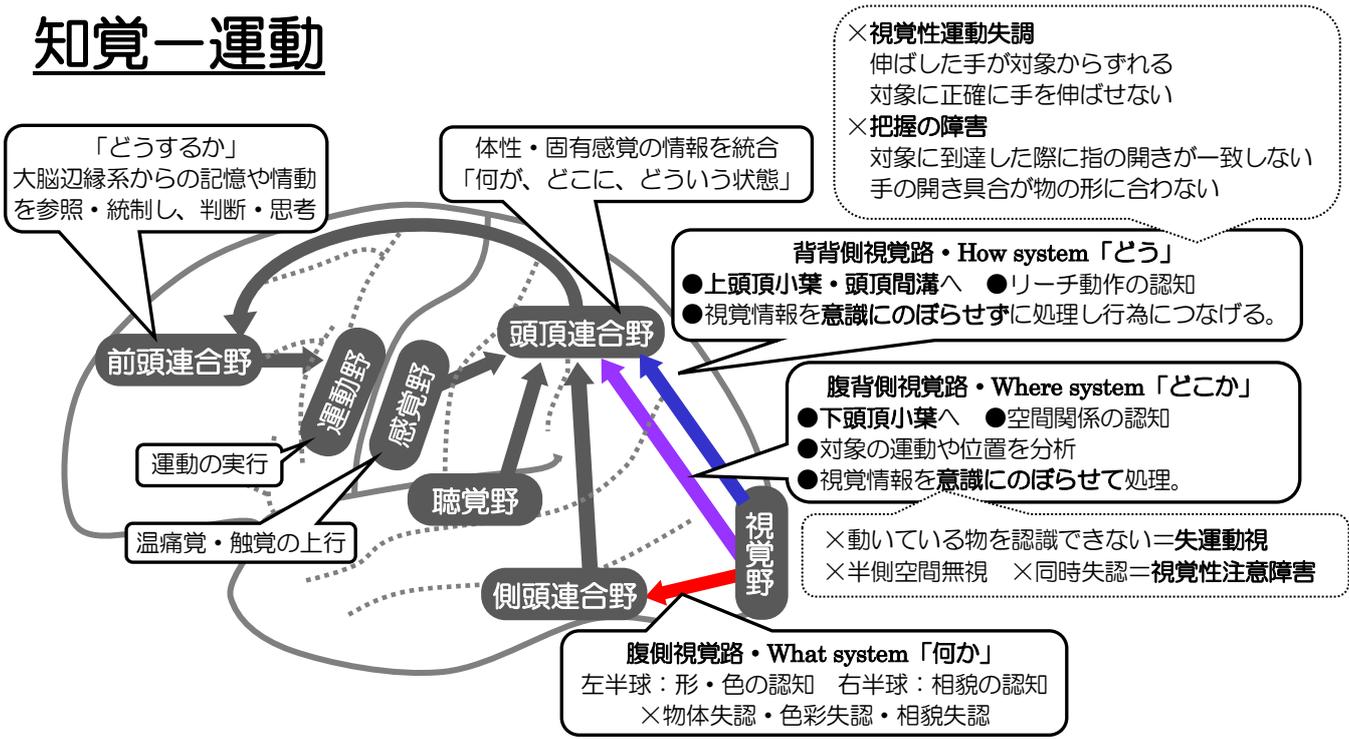


神経心理学

知覚—運動



行動の発現



意図的行動～意識的状况下

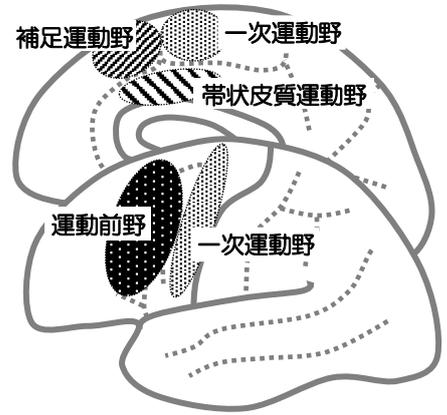


状況依存的に、眼前の視覚情報を基に運動を組み立て、連続動作。

自動的行動～無意識的状况下



身体内情報・記憶情報に基づき、複合動作。



意図性—自動性の解離 ～アルツハイマー型認知症～



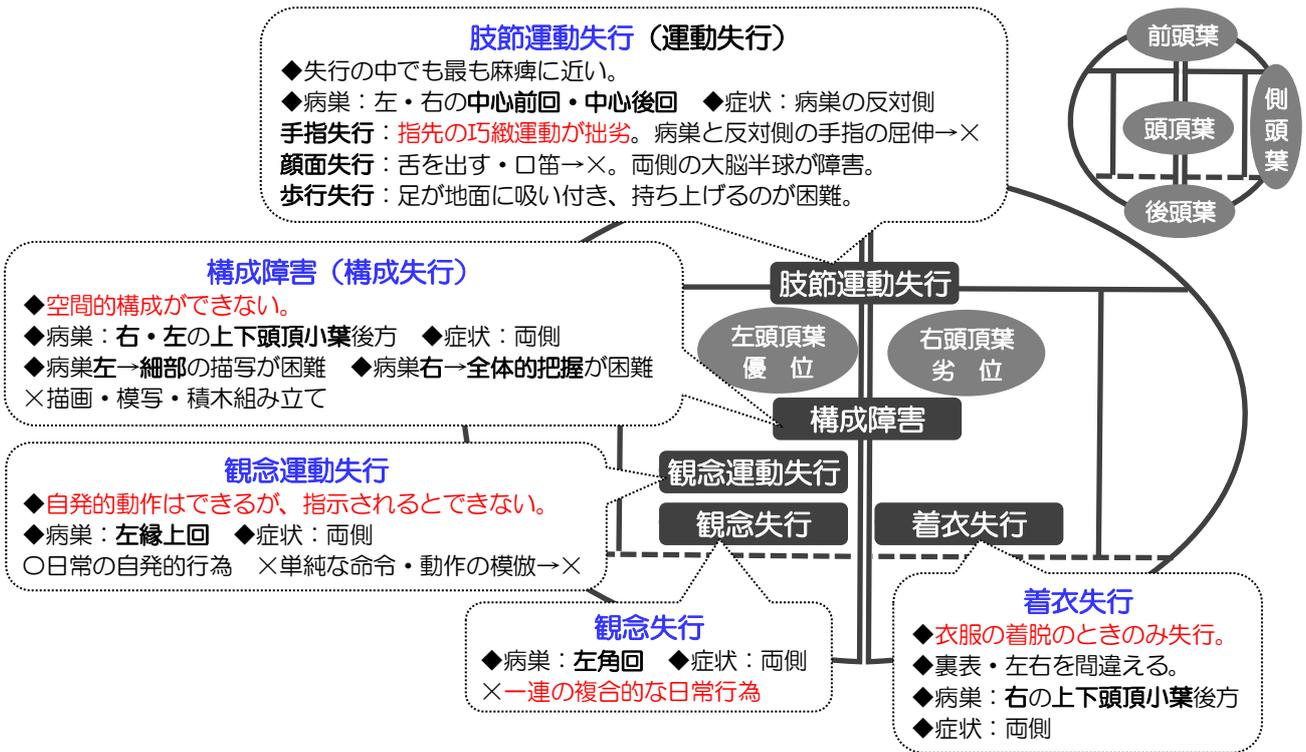
頭頂葉の障害→意図的の行為が困難。
 意識するほど、手続き記憶を取り出せず、ぎこちない。
 意識しない状況では、自然な行動。

意図性—自動性の解離 ～パーキンソン症候群～



失行

●運動障害がなく、行うべき行為を理解しているのに、遂行できない。



失認

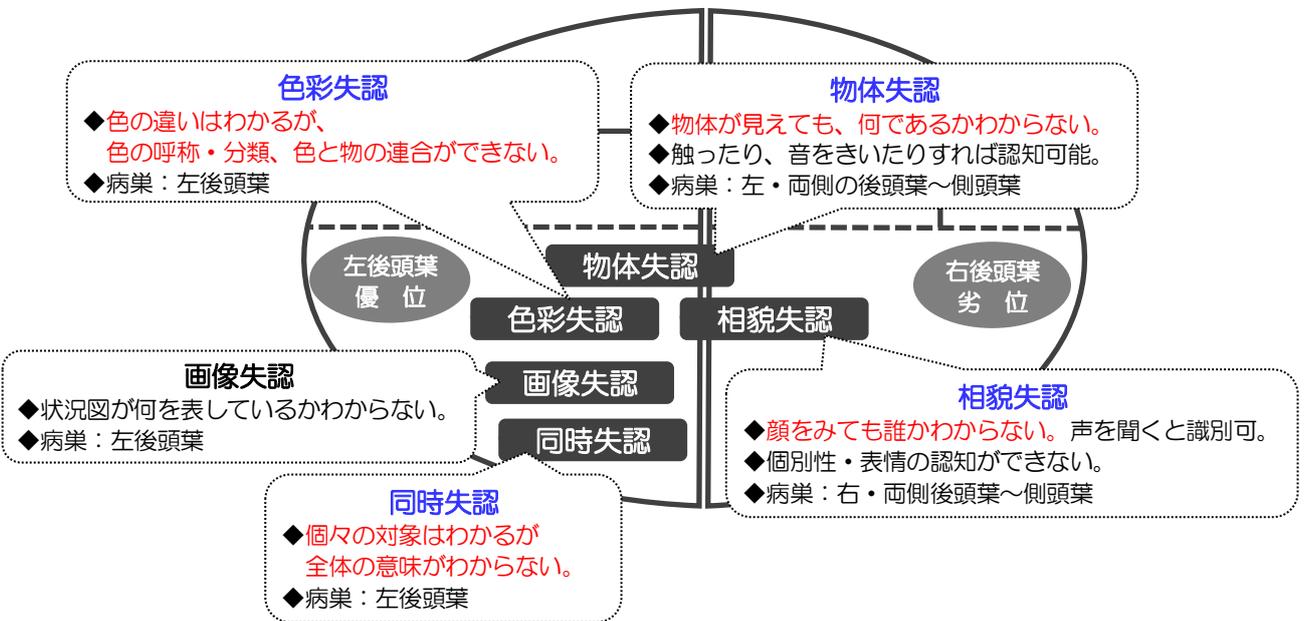
●末梢感覚受容器の障害がなく、対象の認知が障害。

視覚失認

知覚 (統覚) 型視覚失認：対象をまとまった形態として認識できない。対象を模写できない。
→線の大小や傾きなど視覚要素はわかる。

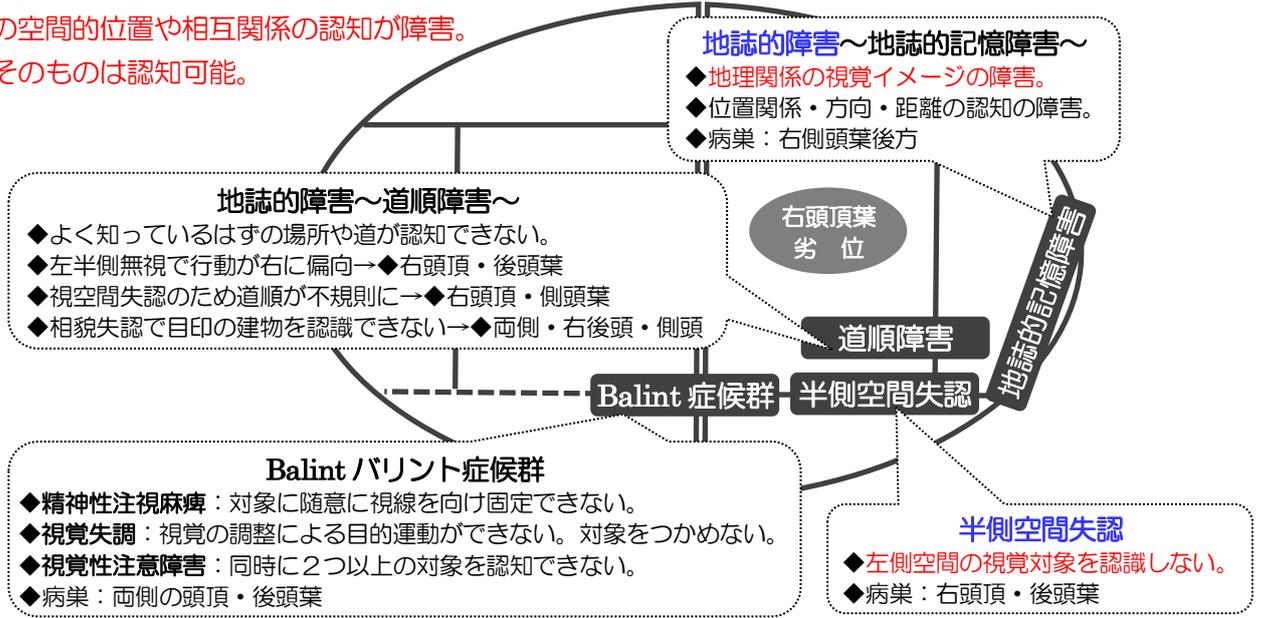
統合型視覚失認：部分的な形はわかるが、全体と関係づけられない。

連合型視覚失認：対象を形態として把握し模写もできるが、意味がわからない。



視空間失認

- 対象の空間的位置や相互関係の認知が障害。
対象そのものは認知可能。

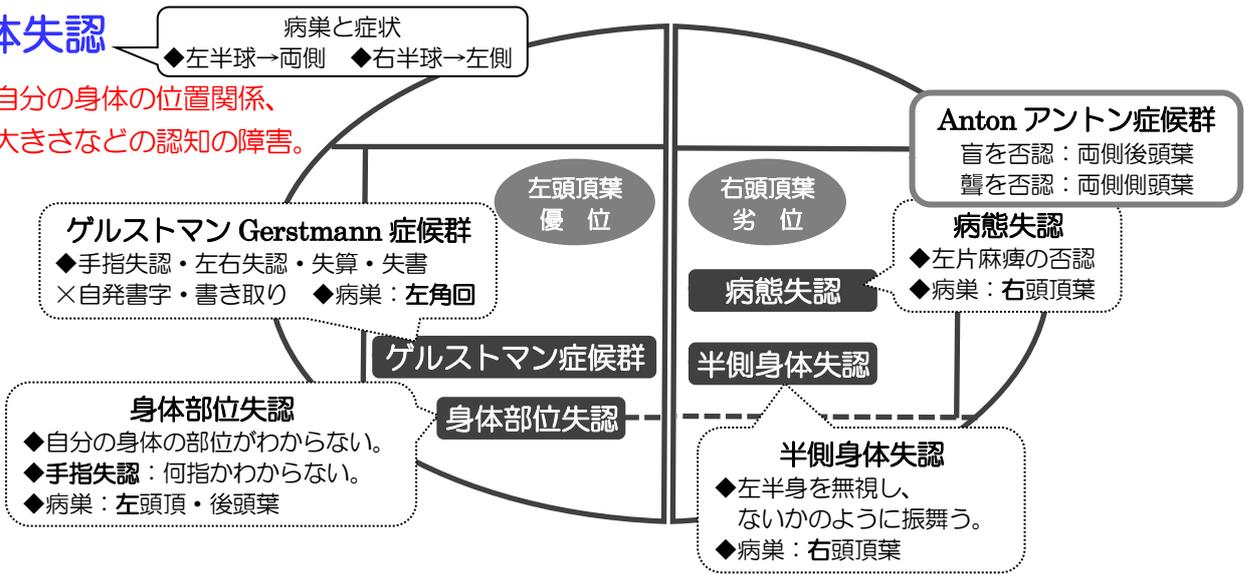


聴覚失認

- 環境音失認：聞こえている音が何の音か、わからない。病巣：右側頭葉
- 皮質聾：音を音として認識できない。「聞こえている」と聾を否認。病巣：両側側頭葉
- 失音楽：音楽のメロディーやテンポが識別できない。
- 純粹語聾：語音弁別に障害。皮質下性感覚性失語

身体失認

- 自分の身体的位置関係、
大きさなどの認知の障害。



触覚失認

- 物を触ってもわからない。見聞きで認識できる。●病巣：一側の頭頂葉 ●症状：対側

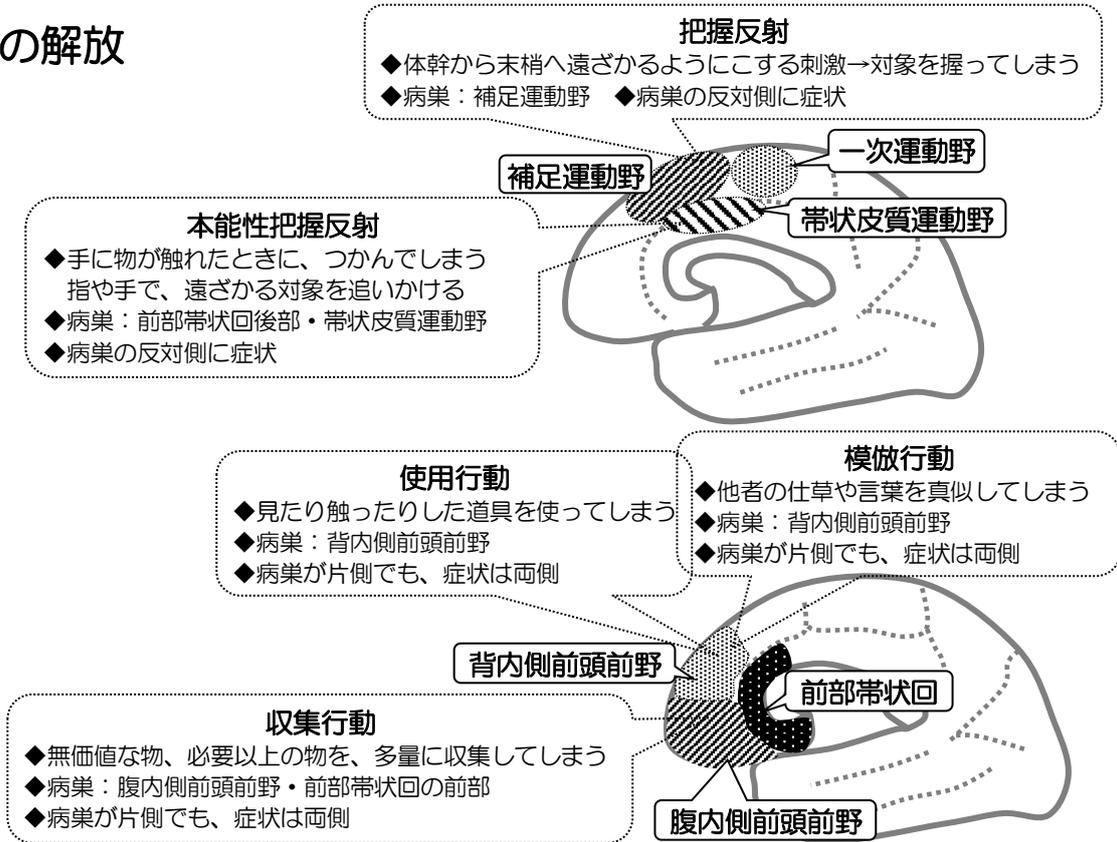
側頭葉症候群

- 無関心・発動性の低下・脱抑制・浅薄な上機嫌 ●言葉や行動の反復 ●記憶障害

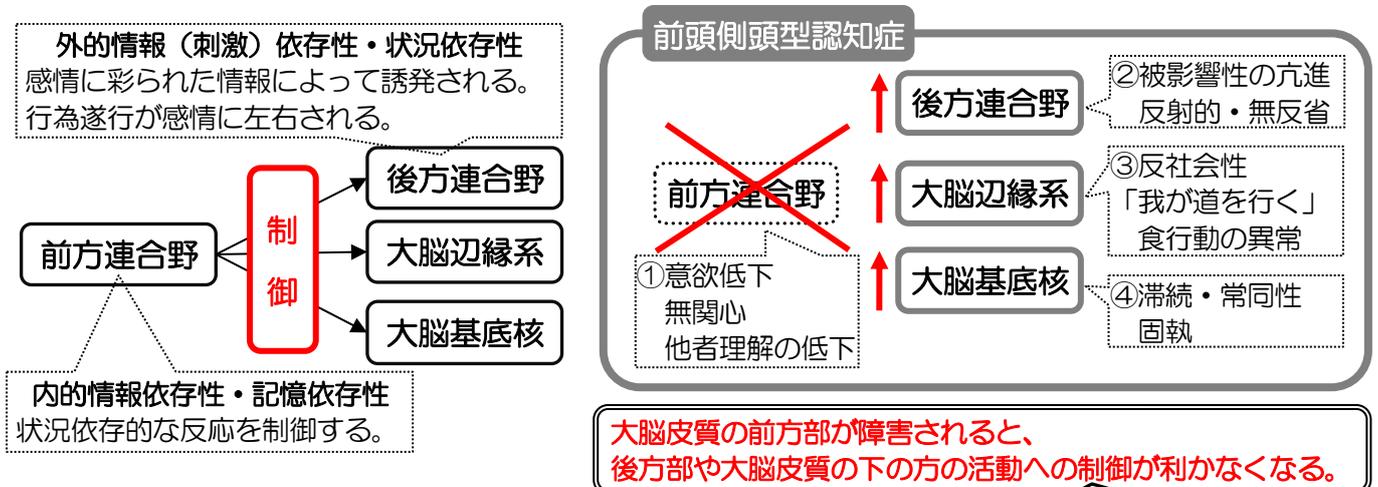
前頭葉症候群

- 発動性の低下・周囲への無関心 ●脱抑制：道徳感情の低下・虚言・性的逸脱行為・反社会行為
- 感情鈍麻 ●記憶力・注意力・理解力の低下 ●知能の障害
- 神経学的変化：原始反射（把持反射・吸引反射）の出現・保続・抵抗症

抑制の解放



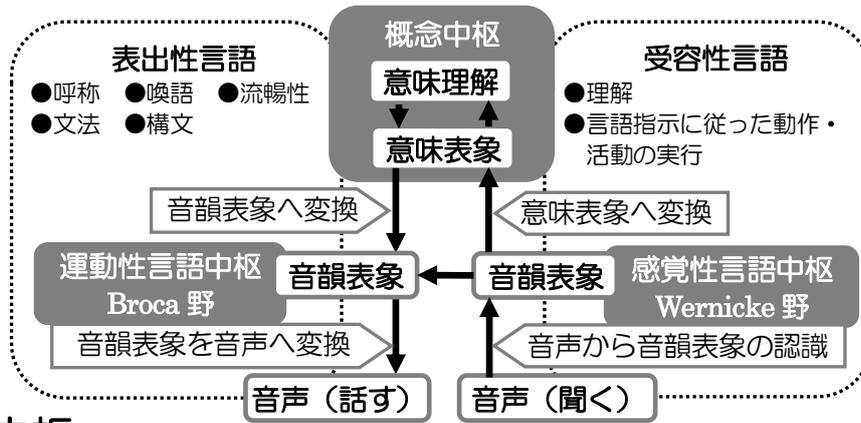
※抑制の解放の具体例～前頭側頭型認知症



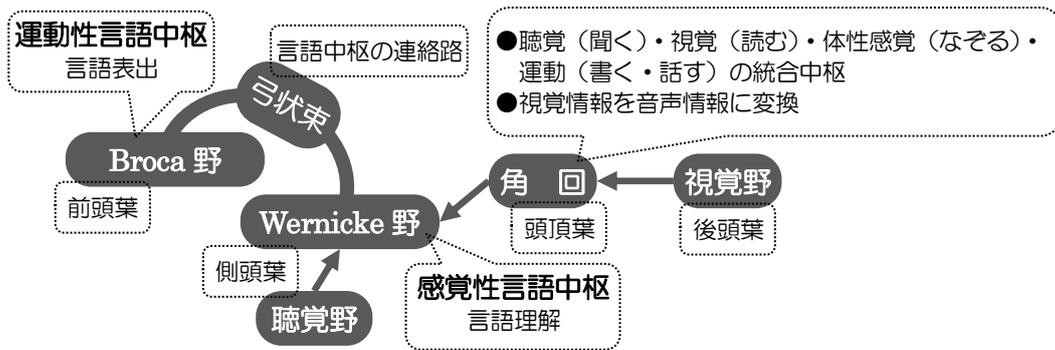
Jacksonism ジャクソン学説
John Hughlings Jackson 英 1835-1911

- 心的諸機能は、階層的秩序で構成される。
- 侵襲により階層的秩序がゆらぎ、上位中枢が侵され（陰性症状）、解放された下位中枢の機能が顕わになる（陽性症状）。

言語



言語機能と中枢



失語



検査法・症状

自発言語

プロソディー (韻律)：言葉の速さ・リズム・抑揚
統語：単語を組み合わせて文章を作る。
換語：意図した言葉を適切に用いる。

流暢性

意味的 (動物など)・音素的 (「は」で始まる) に、語を1分間でできるだけ多くあげる。

言語促進：多弁で止まらない。

語健忘：物の名前を思い出せない。

保続：1つの言葉にこだわり次の表象に移れない。

反響言語：相手の言うことをそのまま復唱。

錯語 (喚語障害)

音韻性錯語 (字性錯語)

単語の一部が他の語に置き換わる。タバコ→タバコ

意味性錯語 (語性錯語)

単語が全く違う語に置き換わる。タバコ→トケイ

アナルトリー anarthria

個々の語音が正しく発音されずに歪む。構音の誤りが浮動する。
 ≠構音障害 dysarthria：麻痺性。失語とは無関係。構音の誤りに一貫性。

ジャルゴン失語

言語促進・錯語が著しく、理解不能。

保続の3分類～Liepmann

- 緊張性保続** ●ある反応をそのまま持続。把握反射など行動面の保続。
- 間代性保続** ●ある反応が引き続いて繰り返す。
 ●同語反復 (反復言語)：同じ言葉を繰り返す。「イヌ、イヌ、イヌ……」
 ●語間代：「わたしししし」
- 意図性保続** ●新しい反応を起こそうとすると以前の反応が生じてしまう。
 ●猫を見せて「ネコ」→次に犬を見せて「ネコ」と呼称。
 ●滞続言語：何を聞いても、最初に答えた自分の生年月日を言う。

統語障害

失文法：接続詞、助詞、助動詞・形容詞・動詞活用形の省略。

錯文法：単語はつながっているが、文法的な誤りが多い。

復唱

読字

読解 (書字理解)

音読

失読：音読ができない。

錯読：字の読み間違い。仮名>漢字

失語性失書

字は書けないが模写は可能。仮名>漢字

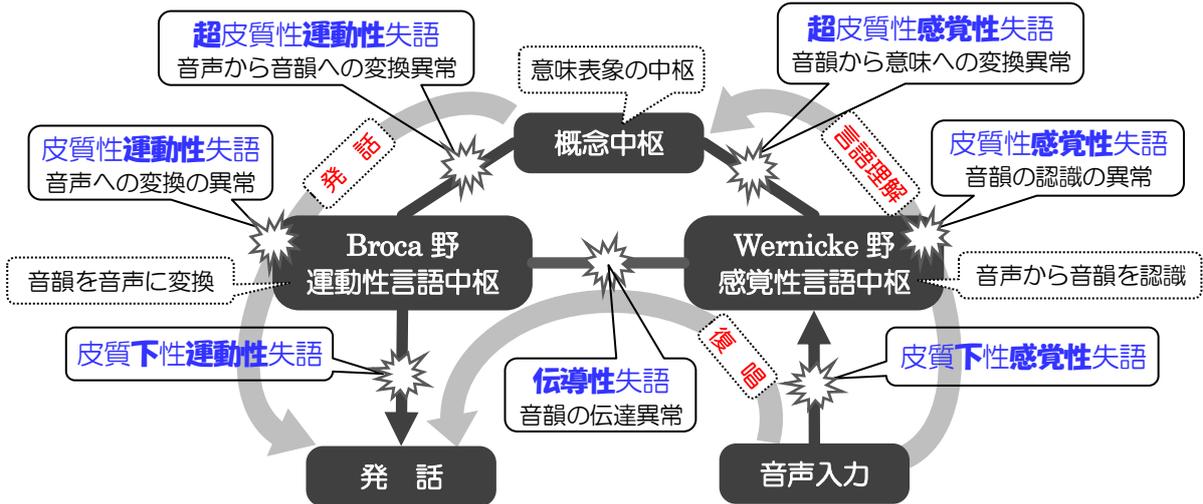
書字

自発書字

書き取り

言語理解

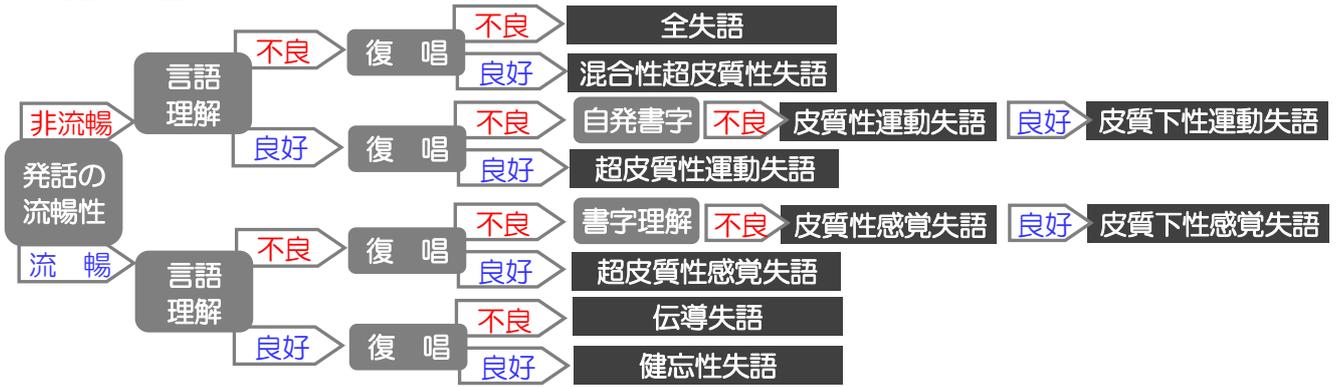
失語の分類～ウェルニッケ・リヒトハイム Wernicke-Lichitheim の失語図式



<p>運動性失語 非流畅失語・自発言語の障害 言語理解は原則可能</p> <p>超皮質性運動性失語 ×自発言語の障害 ○言語理解・復唱は可</p> <p>皮質性運動性失語 (ブローカー失語) ◆運動性言語中枢の損傷 ×自発言語の障害 △言語理解・読解は軽度障害 ×復唱・音読・自発書字・書き取り ◆失文法・錯語 ◆語 唾：ほとんど発語がみられない ◆残 語：少数の慣れた言葉を無意識に使う ◆失行・失算・右片麻痺の合併</p>	<p>超皮質性 復唱は可能</p>	<p>感覚性失語 流畅失語 言語理解の障害</p> <p>超皮質性感覚性失語 ×言語理解の障害 ○復唱は可</p> <p>皮質性感覚性失語 (ウェルニッケ失語) ◆感覚性言語中枢の損傷 ×言語理解が障害 ×流畅だが自発言語・復唱 ×読解・音読・自発書字・書き取り ◆語健忘・保続 ◆錯語・錯文法・多弁・ジャargon失語 ◆語 聾：音として感受できるが、理解できない ◆失行・失認・失算・半盲の合併</p>
<p>全失語 ◆全ての言語機能の障害 ◆運動性失語+感覚性失語</p>		
<p>皮質下性運動性失語 (純粋語唾) ○言語理解・読解・書き取り可 ×自発言語のみ障害→×復唱の障害</p>	<p>皮質下性 復唱の障害</p>	<p>皮質下性感覚性失語 (純粋語聾) ×言語理解のみ障害→×復唱・書き取りの障害 ○自発言語は可</p>
<p>伝導性失語 (中枢性失語) ◆感覚性言語中枢と運動性言語中枢の伝導が遮断 ×復唱の障害 ×書字言語の障害：錯読・自発書字の際の錯語</p>		<p>健忘性失語 ◆語健忘：単語の喚起、物の名前前の呼称が困難 ×換語の障害 ○自発言語・言語理解・復唱は可 ◆失読・失書・失行・ゲルストマン症候群の合併</p>

失語型	自発言語	復 唱	言語理解	読 解	音 読	自発書字	書き取り
超皮質性運動性	×	○	○	○	△	△	△
皮質性運動性	×	×	△	△	×	×	×
皮質下性運動性	×	×	○	○	×	○	○
超皮質性感覚性	錯語	○	×	×	錯読	錯書	△
皮質性感覚性	錯語・錯文法・保続・語健忘	×	×	×	×	錯書	×
皮質下性感覚性	○	×	×	△	○	○	×
伝導性	錯語	×	○	○	錯読	錯書	錯書
全失語	×	×	×	×	×	×	×
健忘性	語健忘	○	○	○	○	△	△

失語の鑑別



局在診断の価値のある失語の症状（参考）

- 音そのものの非一貫的な歪み
- 五十音・アルファベットで表記することが困難

病巣が中心前回から中心溝を越えて、中心後回、縁上回へと後方に及ぶと、アナトリーに加えて音韻性錯語も加わる

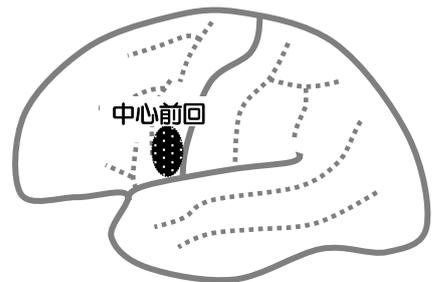
アナトリー : 中心前回病巣 → 純粹語彙の中核症状
音韻性（字性）錯語 : 縁上回病巣 → 伝導失語の中核症状

- 歪みを伴わないきれいな音の置き換え
- 「言い直し」を伴う

言語の下位システム（参考）

発話の実現

- 中心前回の下部
- 滑らかな発話
- 損傷→アナトリーが出現＝純粹語彙（皮質下性運動失語）



音韻の組み合わせと配列

- 縁上回～上側頭回
- 音韻を選択・配列
- 損傷→音韻性錯語＋言語性短期記憶の障害＝伝導失語

復唱の障害

音韻性錯語（字性錯語）

- 子音の誤りが主体（めがね megane→ねがめ negame）

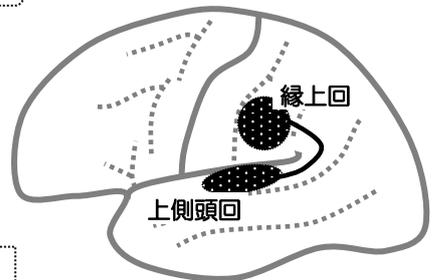
縁上回から病巣が広がり、後方の側頭葉に及ぶと

- 母音の誤りも多くなる（てぶくろ→てびくれ）

- 語性錯誤・新造語の出現
- ウェルニッケ失語に近くなる

病巣が縁上回を中心にして

- 後方→母音の誤りが多くなる
- 前方→子音の誤りが多くなる



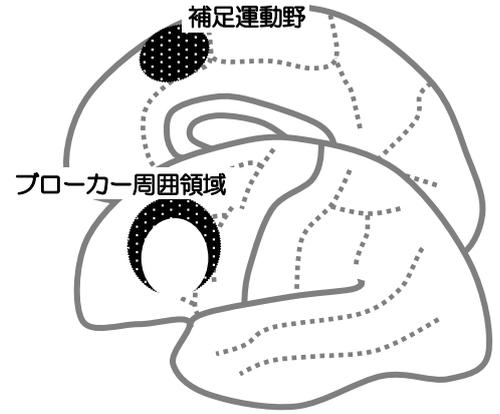
語音認知

- 上側頭回（ヘッシェル回）：聴覚野
- 損傷→純粹語彙（皮質下性感覚失語）

発話の自発性

- 補足運動野（前頭葉内側）～ブローカー領域周囲
- ある音で始まる単語の列挙
- 同一カテゴリーの単語の羅列
- 語の流暢性
- 損傷→超皮質性運動失語

野菜の名前をたくさん挙げてもらう

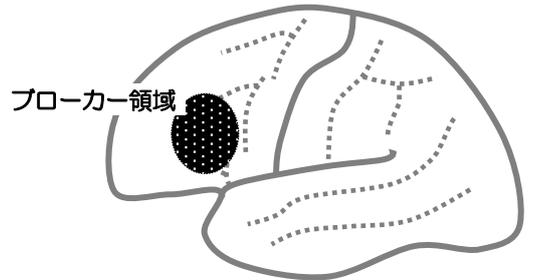


文法理解（統語理解）

- ブローカー領域（前頭葉 44・45 野）
- ブローカー領域の後方がどの程度までかは不明
- 損傷→失文法（電文体）

文法理解

- 側頭葉は関与していないらしい
- 側頭葉損傷→語義失語

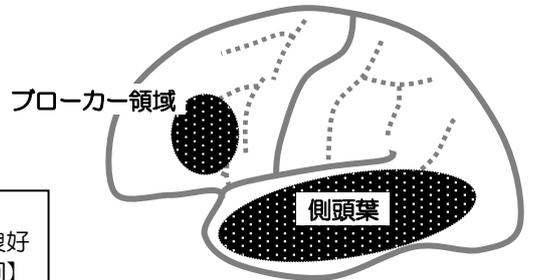


単語の聴覚的理解（語義理解）

- 側頭葉（前頭葉・ブローカー領域も？）

- 前頭葉損傷で、超皮質性感覚失語と区別できない失語も
∴) 前頭葉も語義理解に関与か？

- ウェルニッケ失語：顕著な了解障害
- 超皮質性感覚失語：語義理解不良＋語性中心の錯語＋語音認知良好
【側頭葉】 【縁上回～上側頭回】 【上側頭回】



喚語（語想起・語発見）

- ブローカー領域＋後方領域（側頭・頭頂葉）

